

農業委員会名	1 最適化活動の成果目標												2 最適化活動の活動目標								3 点検・評価結果				
	(1) 農地の集積					(2) 遊休農地の解消等					(3) 新規参入の促進		最適化活動を行う農業委員の人数	農地利用最適化推進委員の人数	(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数		(2) 活動強化月間		(3) 新規参入相談会への参加		農業委員会の点検・評価結果（評語）	推進委員等の点検・評価結果			
	前年度末の集積率	目標	実績			目標	実績	実績	目標	実績	目標	実績			目標	実績	目標	実績	目標	実績		評語ごとの該当する推進委員等の人数			
		集積率	農地面積	集積面積	今年度末の集積率	緑区分解消面積	緑区分解消面積	黄区分解消工程表策定（有無を記入）	新規発生解消面積	新規発生解消面積	同意・公表面積	同意・公表面積			月当たり活動日数	月当たり活動日数（平均）	活動強化月間の実施回数	活動強化月間の実施回数	新規参入相談会への参加回数	新規参入相談会への参加回数		目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	目標に対し期待を上回る結果が得られた	目標に対して期待どおりの結果が得られた	目標に対して期待を下回る結果となった
		%	ha	ha	%	ha	ha		ha	ha	ha	ha			日	日	回	回	回	回		人	人	人	人
坂町	13.9	16.4	1,310	0	0.0	0.4	0.0	策定しなかつた	0.0	0.0	1.5	0.0	15.0	14.0	6	0.4	3	0	1	0	目標に対し期待を（やや）下回る結果となった	0	0	0	28

※ 都道府県は、農業委員会から報告のあった本表を取りまとめて報告

## 令和5年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：福島県

農業委員会名：塙町

## I 農業委員会の状況(令和5年4月1日現在)

※「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5年2月18日

任期満了年月日 令和8年2月17日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	15	15
認定農業者	—	4
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	
40代以下	—	
中立委員	—	

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	14	14	14

## 2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,008
農業経営体数	570

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	935
女性	458
40代以下	51

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	34
基本構想水準到達者	24
認定新規就農者	0
農業参入法人	0
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	907	403	124	17	20	1,310

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## Ⅱ 最適化活動の実施状況

### 【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

#### 1 最適化活動の成果目標

##### (1) 農地の集積

###### ① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	1,310 ha	185.20 ha	14.14 %
課題	農作業の受委託による農地が受託者の廃業により新たな受託者の育成に努めなければならないようになってきている。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

###### ② 目標

農地の集積の目標年度	11 年度	集積率	71 %
今年度の新規集積面積	5 ha	農地面積(C)	1,310 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	190 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	14.5 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

###### ③ 実績

今年度の新規集積面積	0 ha	農地面積(F)	1,310 ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	0 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)/(F)	0.0 %
目標に対する達成状況(H)/(E)	0.0 %		

農業委員会の 点検結果	目標に対して、面積を集積できなかった。
----------------	---------------------

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

##### (2) 遊休農地の発生防止・解消

###### ① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	28 ha	2 ha	26.0 ha
	地域全体の高齢化が進んでいる。地域で協力して保全管理を実施していたが、それも管理が行き届かない現状となっている。個人・地域とも対応が厳しくなっている。		

###### ② 目標

###### ア 既存遊休農地の解消

###### a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	2.0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	0.4 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	26.0	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	県・町・農地バンク・農業会議と協議の上、解消に向けた工程表を策定する。	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

ａ 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	0.0	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)／(C)	0.0	%

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	策定できなかった。
-------------------------	-----------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年6月～7月		令和5年8月～11月	
	1号遊休農地の面積	ha	うち緑区分の遊休農地	ha
			うち黄区分の遊休農地	ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年12月～令和6年1月		令和6年2月～令和6年3月	

農業委員会の点検結果	遊休農地の解消はできなかった。
------------	-----------------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者	令和4年度新規参入者
	0 経営体	1 経営体	0 経営体
	0.0 ha	1.4 ha	0.0 ha
課題	新規就農に関する相談はあるものの専業での希望ではなく農地取得の下限面積未満の農地を希望する例などがあつた。専業で成功するモデルが必要と考える		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
	11 ha	10 ha	13 ha	11 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	1.5 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

### ③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		0.0	ha
公表URL		(その他の公表方法)	
目標に対する達成状況(B)/(A)		%	
(参考)新規参入者の参入状況	参入経営体数	0	経営体
	取得農地面積	0.0	ha

農業委員会の点検結果	農業委員会活動の中で人材発掘に向けた掘り起こし活動を展開しようとしたが活動できなかった
------------	---

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

## 2 最適化活動の活動目標

### (1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6	日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	15	人
			農地利用最適化推進委員の人数	14	人

### (2)活動強化月間の設定

#### ①目標

活動強化月間の設定回数	5	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
R5.6月	農地の集積	農地用地利用状況調査をしながら情報収集を行う。
R5.7月	農地の集積	農地用地利用状況調査をしながら情報収集を行う。
R5.9月	遊休農地の解消	農地パトロールを行いながら農業者へ、町告知システムなどを利用し、解消や発生防止を周知する。
R5.11月	遊休農地の解消	農地利用意向調査を行い、土地所有者に遊休農地の利用意向を伺い、適切な農地利用を促す。
R5.12月	遊休農地の解消	農地利用意向調査を行い、土地所有者に遊休農地の利用意向を伺い、適切な農地利用を促す。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

#### ②実績

活動強化月間の設定回数	5	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の結果
R5.6月	農地の集積	農地利用状況調査の実施による情報収集を行い、遊休農地を把握できた。
R5.7月	農地の集積	農地利用状況調査の実施による情報収集を行い、遊休農地を把握できた。
R5.11月	遊休農地の発生防止・解消	農地パトロールを実施しながら、農業者へ遊休農地の発生防止や解消の必要性を周知できた。
R5.12月	遊休農地の発生防止・解消	農地利用意向調査を実施し、土地所有者に遊休農地の利用意向を伺うことで適切な農地利用を促すことができた。
R6.1月	遊休農地の発生防止・解消	農地利用意向調査を実施し、土地所有者に遊休農地の利用意向を伺うことで適切な農地利用を促すことができた。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

### (3)新規参入相談会への参加

#### ①目標

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	令和5年11月	相談会名	県南地域就農相談会
参加者数	1名	開催場所	未定
相談会の内容	県南地域新規就農者等担い手確保・育成連携会議主催の相談会。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

#### ②実績

新規参入相談会への参加回数	0回
---------------	----

開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

#### 目標の達成状況の評語

目標に対して期待を(やや)下回る結果となった。
-------------------------

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

#### 【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	0
目標に対し期待を上回る結果が得られた	0
目標に対して期待どおりの結果が得られた	0
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	28

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入